



都市の水、今と昔

古代の大阪湾、近代までの大和川と大阪市の河川、現在の河川、そして下水道

天から降ってくる雨、その雨は高いところから、低いところへ、陸地の一部を侵食しながら流れ落ち、やがて水の道、即ち川となって海に注ぎます。

海はこの侵食された土砂によって次第に河口部分が埋め立てられ、陸地が広がり、そこに新しい耕地が出来、人々は農耕を営んで集落を形成し、文明、文化も芽生えます。

私たちが今住んでいる大阪市もこのような自然の動きの中から出来上がったに違いありません。しかし私たちの文明はますます発展し、一部自然の動きを無理に変化させてきました。

その結果現在、どのような事が起こってきたのでしょうか、また私たちの文明は、その現象にどのように対処しているのでしょうか。

この見学会では、この点、特に“水”に焦点を当てて、現在大阪市内で建造された土木施設を見ながら、あらためて振り返ってみたいと思いますが、いかがでしょうか。

ご参加をお待ちしています。

日 時 平成 16 年 11 月 4 日 (木) 13 時 30 分 集合 (雨天決行)

集合場所 住吉大社太鼓橋西詰め (南海本線住吉大社駅下車)

南海本線、難波駅から普通電車で約 10 分、徒歩約 10 分

見学場所 住吉公園、 高灯籠、 -- 細江川、 -- 住吉川、 -- 住の江下水処理場、 -- 住の江抽水所 (約 4 km の道のりを歩きます)

解散は 住の江下水処理場と、住の江抽水所で説明を受け、見学した後、
16 時 30 分頃、住の江抽水所で解散となります。

最寄り駅は、ニュートラムの平林町です。

参加ご希望の方は、次の申し込み書にご記入の上、FAX にてお申し込み下さい。

FAX 06-6772-9165, 04-3 市民見学会事務局まで (10 月 29 日締め切り。)

04-3 市民見学会参加申込書

ふりがな		
お名前		
電話番号	Tel	Fax
又は FAX		